



メキシコでの生活も残り3カ月、メキシコでは日中に歩いていると半袖でも、少し汗ばんでくるほど日差しも強くなってきました。

今月は、友人に銀の街として知られている Taxco に連れて行ってもらったので、そのことについて書いていきたいと思っています。

銀の街 Taxco



Taxco（タスコ）は、メキシコのゲレロ州にある銀製品がとでも有名な街です。

昔、メキシコがスペインに征服されていた時代に、スペインの征服者がタスコで銀が取れることに気がつき、現在の位置にタスコができたそうです。

その後フランスからやってきたボルダという人によって銀行脈が発掘されました。そのボルダという男は後に銀山王と呼ばれるまでに莫大な富を得たそうです。

街並みを見てみるとたくさんの白いビートルが走っています。このビートルはタスコでのタクシーとして利用されています。

普段は観光客がたくさんいるのですが、私が行った日は日曜だったこともあったのかほぼ地元の人たちだけのように感じました。



サンタプリスカ教会

サンタプリスカ協会は、前述したボルダというフランス人によって作られた教会です。

ボルダは得た莫大な富を利用して、教会や庭園などを街にたくさん建築していったそうです。

また、サンタプリスカ教会の前には小さな広場があり、街の中心地として一日中人で賑わっている印象を受けました。



タスコの白を基調とした美しい街並みは、スペイン征服時代にボルダによって形成されました。そのため、ヨーロッパの街並みのような印象を受けます。

また、街は山間部で発展したため、坂道が多くとても入り組んでいます。

私自身、グーグルマップで店を見つけても、その店までどのように行ったらたどり着けるのか分からなくて、初めは少し迷いました。



銀製品をたくさん見終わったあと、自分が想像していたよりも坂道が多く、暑かったこともありとても疲れたので、アイス屋によってアイスを食べました。

私はスイカのアイスを買ったのですが、本当にスイカでできているため、日本にスイカバーと言うアイスがありますが、タスコで食べたこちらはまさしく本当のスイカバーでした。

メキシコでの生活も6カ月が過ぎ、語学学校も次で最後のコースになります。

残り少ない時間を充実させるために、日本に帰るまでにまだまだたくさんの経験をし、今後活かせるように努めていきたいと思います。